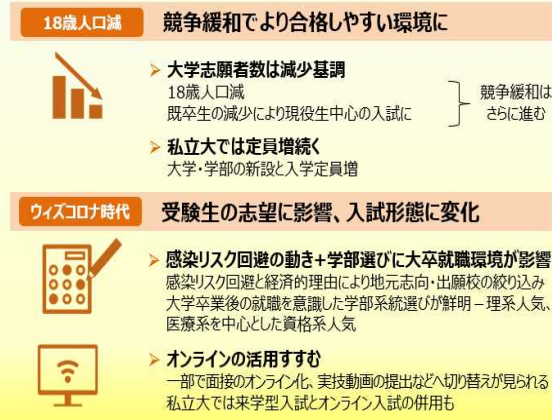


小山高校令和4年度入試・結果分析総括

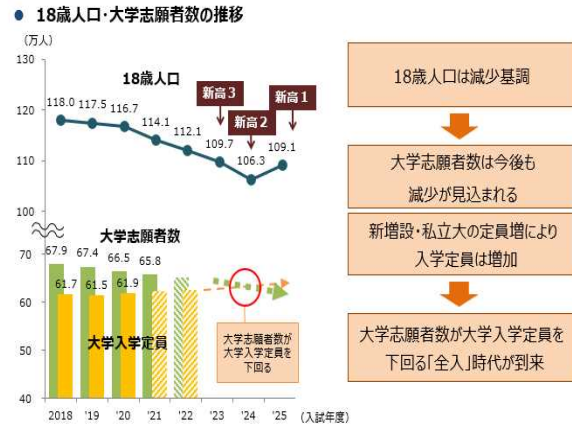
信じる **Trust!** 育てる **Foster!** 支える **Support!** 進路指導部

1 令和4(2022)年度入試のトピックスと受験環境

2022年度入試の受験環境



受験人口減により大学志願者は減少期に

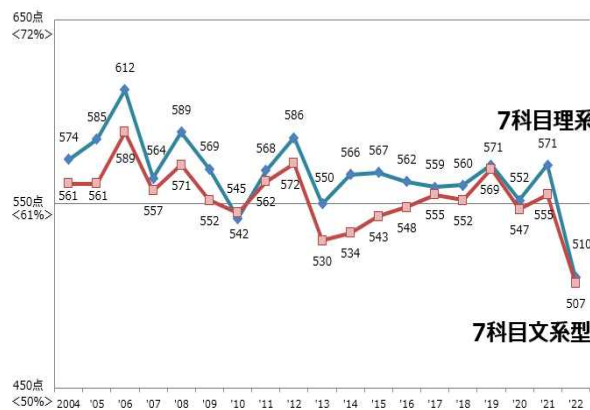


2 大学入学共通テスト分析

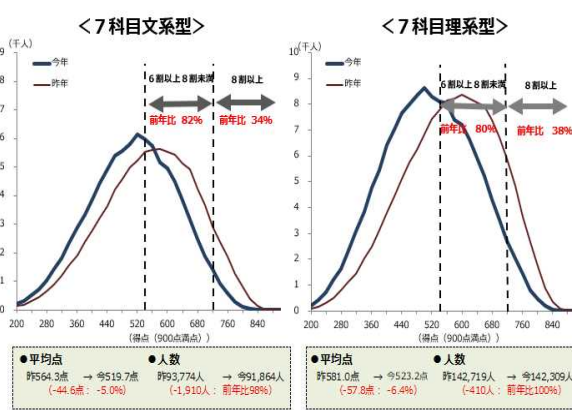
■全国5教科文系平均 昨年から **−44.6点大幅↓** 平均点520点

■全国5教科理系平均 昨年から **−57.8点大幅↓** 平均点523点

共通テスト・センター試験 7科目型平均点の推移

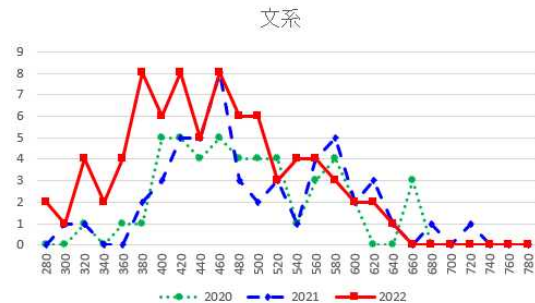


共通テスト 7科目受験者の得点分布

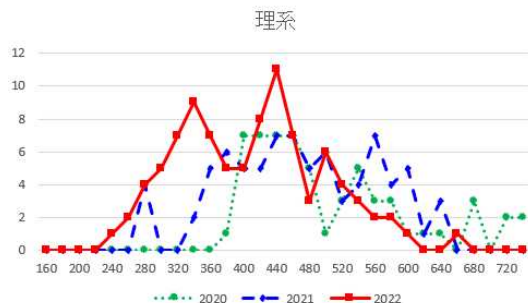


■校内概況

【文系】



【理系】



■文系：共通テスト難化により上位層は減少したが、平均点の低下の幅が全国より小さく、さらに500点以上がほぼ昨年並であったことから健闘した！！

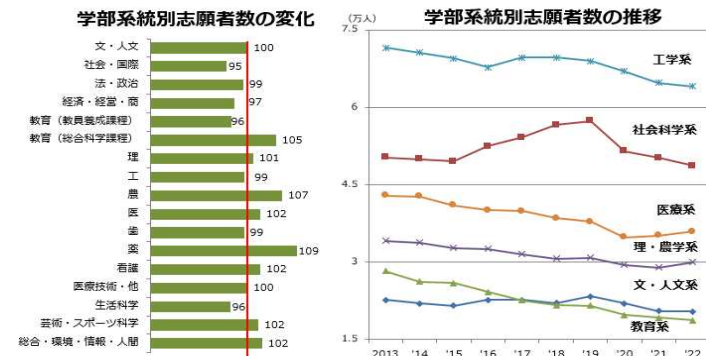
■理系：平均点の低下の幅が全国より小さかった。さらに国公立大の合格可能性が高くなる475点以上の層が例年並だったことから健闘した！！

2 国公立大学入試

国公立大の志願状況①（全体概況）



国公立大の志願状況②（系統別状況）



□後期欠席率 過去最高約61.3% 急上昇!!【3人に2人は欠席】

近年の受験生は最後まで粘りきれない、見かけの倍率が高く諦めてしまう、また通える私立でいいと決めてしまいがちな生徒が多いことから後期欠席率は年々上昇し続けている。欠席率が高いことから後期の実質倍率は低く、本校生徒も例年後期まで頑張り切った生徒が、厳しい判定でも逆転合格しています。だから、やはり見かけの倍率にごまかされず後期まで頑張り切ることが、国公立合格の鉄則である。

3 国公立大学概況（本校）

◎今年度51名合格!!

3カ年で約200名合格!!

◎一般合格率：45%!!

◎全国平均(22%)約2倍!!

◎東京工業大：合格!!

◎宇都宮大：19名合格!!

※過去最高

■志願状況

□志願者数：減少

□志願倍率

○前期：2.9倍 ※昨年度2.9

○中期：約1.3倍 ※昨年度1.2

○後期：約8倍 ※昨年度8

□平均倍率：約2.9倍と昨年と同じから2倍台。

■国公立大学の人気は変わらない。極端な安全志向は見られず、難関大で志望者増加。

■学部系統

『文高理低』から確実に、資格志向系統人気が顕著。

□増加

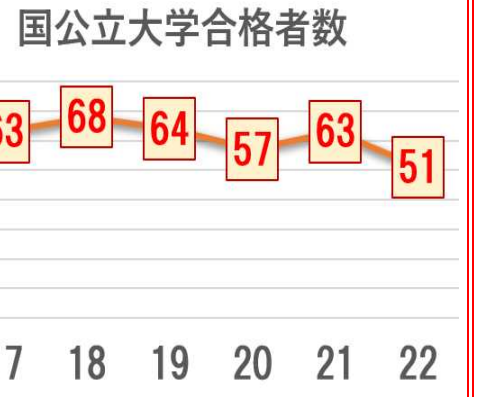
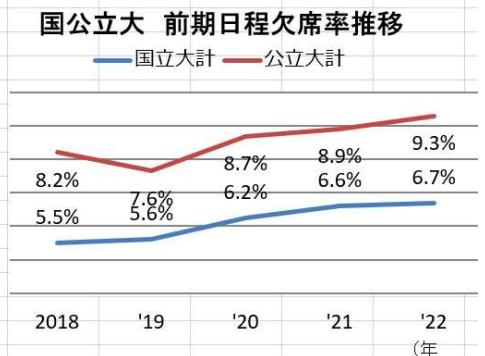
「医療等資格系統」「理学」

□例年並

「文・人文」「法・政治」で

□減少

「社会・国際」「経済・経営・商」「教員養成」各系統では減少率が高かった。



◎総合型選抜・学校推薦型選抜【過去4力年分析】

■国公立大学

97名出願して、51名合格!!合格率53%
全国平均30%を大きく上回り、高い合格率!!

※特に、宇都宮大学

●26名出願して、17名合格!! 合格率65%

●特に工学部は、合格率83%

■国公立大学合格者数 ベスト3

①宇都宮大	19	②群馬大・山形大	5	④茨城	4
-------	----	----------	---	-----	---

■難関国公立：東京工業大・横浜国立大 金沢大学等に、計5人合格!!

《参考》2013年度	3名	【東北1、東京農工1、筑波1】
2014年度	5名	【筑波2、東京農工1、東京学芸1、横浜国立1】
2015年度	4名	【名古屋1、千葉3】
2016年度	4名	【山梨・医1、千葉1、金沢2】
2017年度	5名	【筑波1、金沢2、広島2】
2018年度	3名	【東京医科歯科1、金沢1、山口東京理科・薬1】
2019年度	7名	【東北2、筑波1、千葉2、横浜国立1、金沢1】
2020年度	2名	【筑波1、千葉1】

■校内模試との相関は明確【5教科7科目900点満点】※過去10ヶ年の分析

◎国公立大学合格者【校内模試平均】385点(得点率43%)昨年384

◎宇都宮大学合格者【校内模試平均】390点(得点率43%)昨年392

◎難関私立大合格者【校内模試平均】303点(得点率51%)昨年302

■国公立大学合格者《学習時間と教科数》との相関大

国公立大学学習時間【平日】分析



国公立大学学習時間【休日】分析



《単位は分》

◎1日学習する教科数

【平日】1・2年生：英・数+1教科

3年生：□国公立志望 4教科以上 □私大専願 私大の受験教科

【休日】1年生：英・数・国+1教科、2年生：5教科

3年生：□国公立志望 5教科以上 □私大専願 私大の受験教科

私立大学入試

私立大の志願状況① (全体概況)

私立大志願者数の変化

全体概況	2021年度	2022年度	前年差	前年比
全体	2,805,804	2,841,726	+35,922	101%
一般方式	1,878,322	1,907,097	+28,775	102%
共通テスト方式	927,482	934,629	+7,147	101%

※新卒生141万(河合塾調べ、私大25万(河合塾調べ))
※志願者数が公表の入試方式は集計対象外

大学グループ別

大学グループ	2021年度	2022年度	前年差	前年比
早慶上理	203,911	207,497	+3,586	102%
MARCH	374,558	385,985	+11,427	103%
成成明国武	86,684	93,898	+7,214	108%
日東駒専	265,039	267,730	+2,691	101%
理系10大学	283,622	310,194	+26,572	109%
女子13大学	58,694	55,966	-2,728	95%
関関同立	241,121	252,136	+11,015	105%
産近甲龍	248,128	265,711	+17,583	107%
北星学院・北海学園	9,308	9,910	+602	106%
東北学院	9,891	13,010	+3,119	132%
南山・聖地・中京・名城	107,343	112,712	+5,369	105%
西南学院・福岡	61,505	62,354	+849	101%

※新卒生141万(河合塾調べ、私大25万(河合塾調べ))
※志願者数が公表の入試方式は集計対象外

※文部科学省資料より

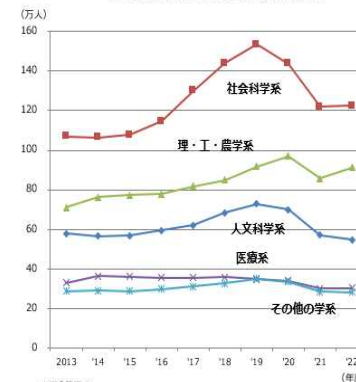
※グラフは私立大一般選抜最終志願者数、倍率の推移 (2022年度1次推定)

私立大の志願状況② (系統別の状況)

学部系統別志願者数の変化



学部系統別志願者数の推移



◎志願状況

- ①志望者指数は増加に転じたが、合格者の増加で競争は全体的に緩和。
- ②難関私立大学の志願者は増加に転じた。
- ③総合型選抜・学校推薦型選抜は昨年並。

■学部系統：国公立大同様、文高理低が崩れ、資格取得傾向にシフト!!

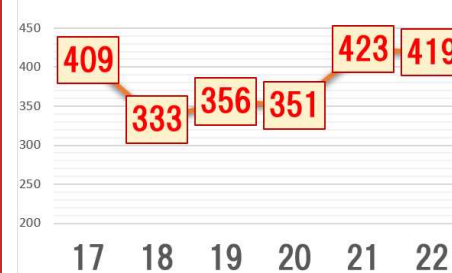
【文系】「法・政治」では1割近く増加した。

【理系】「理」「工」増加、「農」前年並み。医療系は「歯」、「薬」は志願者を集めているが、医療技術系では志願者が減少。

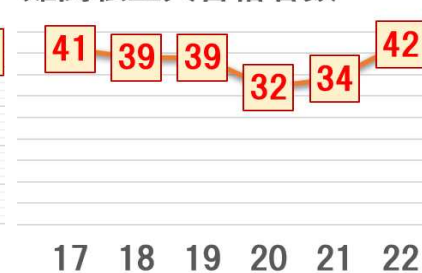
◎超難関：早稲田大学2名

【文化構想1人・先進工学部1名】合格!!

私立大学現役合格者数



難関私立大合格者数



コロナの影響で、他校は指定校推薦で早くしまいたい傾向があるなか、本校生は最後まで頑張る一般選抜の出願者が増え、さらに合格者が大幅に増加した!大変健闘したと評価!

■難関私大計42名 合格 H30(39名)→R1(32名)→R2(34名)

※主な難関私立大学

慶応	1	早稲田	2	青山学院	3	学習院	4	明治	4	立教	1
中央	6	法政	10	津田塾	1	東京理科	7	立命館・関西学院	3		

超難関慶応・早稲田揃っての合格は15年ぶり、また指定校に安易に頼らず、最後まで志望する難関大に昨年以上の合格者が出たことは、かなり健闘した！！

■中堅私大計208名 合格 H30(185名)→R1(158名)→R2(218名)

※主な中堅私立大学

日本	30	東洋	19	駒澤	8	専修	9	成城・成蹊・國學院・武蔵	7
明治学院	5	大東文化・亜細亜・帝京・国士舘	51	順天堂・杏林	6				
文教	18	獨協	7	日本女・昭和女・大妻女・共立女・女子栄養	9	東京電機	11		
芝浦工業	7	東京都市	3	工学院	7	東京農業・東京家政	11		

今年度は文部科学省からコロナ感染の影響による受験生への負担軽減により、定員厳格化がやや緩くなったこともあるが、また他校が指定校推薦で早く決めてしまいたい傾向があるなか、本校生徒は最後まで頑張る一般選抜の出願者が増え、さらに上記の中堅大学の合格者が大幅に伸びたことから、大変よく健闘した！！

■私立大学合格者数上位ランキング

①白鷺大	60名	②帝京大	30名	③日本大	29名	④日本工業	21名
------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----

5 総合型選抜・学校推薦型選抜について

◆国公立大学

過去4力年 97名出願 → 51名合格!! 【合格率 53%】

全国平均30%の約 1.8倍、高い合格率!!

◎特に、数理科学科の合格率は68%と普通科より高い!!
→数理科学科課題研究等が、この選抜で高く評価される。

◆宇都宮大学:

過去4力年26名出願 → 17名合格!! 【合格率 65%】

※特に、工学部の合格率は、83%

◆私立大学 昨年度: 66名出願→60名合格! 【合格率 94%】

指定校推薦は内40名

※H30(40名) → R1(56名) → R2(46名) → R3(39名)

小高生の素直・謙虚・実直な人柄は、大学等から高く評価されるので、本校は総合型選抜・学校推薦型選抜はとても有効な戦略!! 積極的にチャレンジ!!

6 医療系入試について

自治医科大学・看護・獨協医科大学・看護

順天堂大学・北里大学・杏林大学に現役合格!!

◆国公立大学志願者: 「看護」は減少。「薬・医療技術」は増加。

◆私立大学志願者: 「看護・医療技術」、「薬」は昨年の減少傾向を維持。

【私立大学】自治医科、獨協医科、国際医療福祉、杏林、足利、群馬パース、

目白、順天堂・帝京、帝京平成、人間総合科学等

【看護専門学校】栃木県衛生福祉大学校、晃陽看護栄養専門学校、等。

7 就職 2名 ※例年1~2名 (警察・消防・市役所等公務員)

8 浪人 H30:19名 → R1:7名 → R2:6名 → R3:0名

■小山高校の進路指導について

1 進路指導部の指針

◎『行き先』指導ではなく、『生き方』指導

『生徒のモチベーションを上げる・仕掛ける・攻めの進路指導』
『信じる』 **Trust!** (生徒の可能性を信じる!)
『育てる』 **Foster!** (生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる!)
『支える』 **Support!** (生徒と最後まで付き合い、全力で支える!)

2 効果的な進路指導のための 2つのキーPoint

(1) キーその1~ 3年間の指導方針を明確にして指導する

◎全学年: 基礎・基本の徹底・自主学習能力の育成

朝学【毎日40分×約600日(3年間)＝約400時間以上】

<1年次進路指導>

職業理解、大学理解→→文理選択決定

■キャリア教育【6月: 職業理解: 文理選択】※アクティブラーニング形式

1日大学見学会・進路講演会(10月)、進路・受験指導(各学期)、等。

<2年次進路指導>

■学部・学科、入試制度理解→大学に行く意義の理解を深め→志望進路先の決定
→志望理由書の作成

■キャリア教育【9月: 学問理解・将来の方向性】※アクティブラーニング形式

学部学科説明会(6月)・進路講演会(11月)進路・受験指導(各学期)、

総合的な探究時間に係る小山高校進路探究プログラム(OTP)、等。

<3年次進路指導> 志望進路の実現

(2) キーその2~

仲間の声を力にし、チーム小山の意識を高める!

◎『受験は団体戦!』仲間の声を力(One for all, All for one)

みんなで頑張る雰囲気・仲間への「気づき」が生徒を成長!!

→「チーム小山」の意識・形成

3 だから、小山高校は・・・

東京工業大学に合格した先輩から

小高の先生方は丁寧に生徒一人一人に向き合い、真剣に考え、全力で指導して下さいます!! ですから、高校入試では350点程度の私が、東大・京大の次のレベル、もちろん到底無理と思われた東京工業大学に合格できたのも、そんな先生方や

支え合う友人たちがいたからと、心から思います。また私は、小高の指導だけを信じて、素直に努力を重ねることで、自信を持って入試に挑み、合格できました。私は、小山高校で高校生活を送れたことを、誇りに思います。小高は自身の可能性・力を最大限引き出してくれる最高の学校です!!



小山高校は、高校入学後から卒業までに、生徒が本来持っている良さ・力・可能性を引き出し、またそれを、最大限伸ばしてきた実績のある学校です。

信じる **Trust!** 育てる **Foster!** 支える **Support** 小山高校進路指導部